

一歩前進

～落ち着いた雰囲気の中に活気のある学校をめざして～
3つの『あ』…『あいさつ・あきらめない・ありがとう』…をベースに

まずは、歩いて登校しよう!!

昨年度のPTA総会(4月、2月)、1学年PTA給食試食会(10月)、就学時健康診断(11月)等に引き続き、本年度のPTA総会(4月20日)でもお願いをしました「子どもたちを歩かせること」については、何とぞご協力をお願いします(もちろん、健康上の理由など、特別な事情がある場合を除きます)。

「登下校時に歩く」というのは、ほんとうに小さなことかもしれませんが、仮に学校から家まで約1kmの所に住んでいる子どもが毎日歩いて登下校を続けたとすると、

1日に約2km、年間登校日が約200日間ですので、1年間に約400km、6年間では何と約2400km、玉名から北海道の札幌をさらに越えた付近まで歩いたことになり、小さなことの積み重ねが、大きな成長へとつながっていきます。小さなことを積み重ねるといえるのは、ほんとうにすごいことです!!

ちなみに、菊水ICから広島ICまでが約380kmですので、1年間続けるというだけでもたいしたものです。

日米の野球で大活躍したイチロー選手は「小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただ一つの道だと思っている」と、常々言っておられます。

子どもたちの将来を見据えながら、今確実にできそうな小さなことを、コツコツと少しずつ積み重ねていきたいものです。それが、必ずや子どもたちの将来に向けての『蓄え』になっていくはずです。心を鬼にして、子どもたちをたくましく育てていきましょう!!「鉄は熱いうちに打て」です。



6年生の学ぶ姿がすばらしい!!

6年生の国語「聞いて、考えを深めよう」の学習に招かれ、今週の月・火・水と、それぞれの学級での授業に参加しました。

子どもたちがインタビューとなり、「どんな学校にしたいですか?」「町小の子どもたちの印象は?」「どうして校長先生になったのですか?」などなど、私にぶつけてくるいろいろな質問に答えを返していく…という授業だったのですが、何よりも、子どもたちの学ぼうとする姿・話を聞く態度がすばらしいために、話がしやすく、思わず長々と語り込んでしまいました。最高学年である



6年生の学ぶ姿、とても立派です。これからも頑張りましょう!!応援しています。



校長室から

令和5年度の卒業生・保護者一同様からいただいた『胡蝶蘭』を校長室に飾らせていただいています。最初10個ほどあったつぼみが、一つ、また一つと開き始め、今週の月曜日(5/13)に、ついに全ての「つぼみ」が「花」へと成長しました。卒業式から



2カ月近くが経ち、一つも花が落ちることなく、48輪の花が見事に咲き誇っています。とても立派な胡蝶蘭です。

小学生・中学生の子どもたちは、やっと芽を出し、茎を伸ばし、葉をつけ始めている段階で、「つぼみ」はついていない段階だと思っています。まだまだこれから子どもたちです。今の時期にしっかりと根を張り、葉を茂らせて、将来、それぞれの「世界に一つだけの花」をしっかりと咲かせてもらいたいと思います。そのために、今できること・今やるべきことを、あきらめることなく全力で頑張っていってほしいと思っています。